

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小4	社会	企業・団体コラボコンテンツ：オハヨー乳業株式会社 公共事業(廃棄物処理)「ごみのしよりと利用」	オクリンクプラス 選択肢集計・キーワード集計
授業内容	ごみを減らすために何が必要か考え、自分ができることを考える		
準備：	ごみを減らすために何が必要か考え、自分ができることを考える		
授業の流れ：	1. 「ごみを減らすためには」の2枚目のカードを見て、オハヨー乳業株式会社の工夫や取組の結果を知る。 企業・団体コラボコンテンツ：オハヨー乳業株式会社 https://bso.benesse.ne.jp/miraiseed/fansite/kigyuu_collabo/case/ohayo/ 2. カード「あなたの知っているごみのへらし方」を開き、「ティッシュペーパー」「シャンプーやせっけん」「ペットボトル」から一つ選び、知っているごみの減らし方を入力して、みんなのボードの「知っている」に送る。 3. 先生が選択肢集計の「カード」の表示を使って、知っているごみの減らし方を共有する。 4. カード「あなたのしているごみのへらし方」を開き、自分の工夫を入力し、みんなのボード「している」に送る。先生がキーワード集計を使って、それぞれの工夫を共有する。 5. マイボードに配付されたストーリー「生ごみのリサイクルを見てみよう」を開き、オハヨー乳業株式会社の牛のふん・コーヒーのリサイクルについて知る。 6. インターネットなどを使って何が何にリサイクルされているか調べ、自分が使っているリサイクルされたものをカードに入力し、みんなのボード「リサイクル」に送り、全体で共有する。		
サポートおすすめポイント	・給食の牛乳ビンなどが例で示されているため、リサイクルを身近に感じることができます。 ・身近なものから考え共有することで、水筒を使えばペットボトルを捨てる必要がない等、自分自身の選択や行動でごみを減らすことができると気づき、これからの活動につなげていくことができます。		

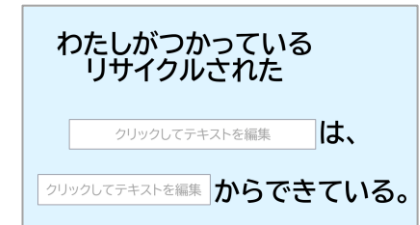
カード：オハヨー乳業株式会社の取組例



選択肢集計を使ってカードを共有する例



身近でリサイクルされたものを調べたカード



共有コード

共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む



pb01JYDXSFPJ06760DMTTZE30M4D